

様式第1号 (第6条関係)

協働事業に関する提案書

平成 29年4月7日

(宛先) 狭山市長

団体名 特定非営利活動法人
わが街さやまの防災ネットワーク
所在地
代表者名 高橋 和子

次のとおり、協働事業に関して提案します。

1 提案する協働事業	市民提案型協働事業
2 事業名	防災連絡協議会設置に向けてのコーディネート事業
3 事業期間	平成29年6月1日から平成30年2月28日
4 事業種別	<input type="checkbox"/> 単年度事業 <input type="checkbox"/> 継続事業
5 事業予算	総額 190,400円(補助金申請額 90,000円)
6 事業概要 ※100字以内で簡潔に記入してください	3年目を迎える今年度は、今まで各地区で実施してきた防災カフェ(自主防災組織の皆さんとの勉強会と体験会)の集大成として「グラン・防災カフェ(大防災カフェ)」と名づけた自主防災組織を横断的に繋ぐイベントを実施します。市内全域に災害が発生した際、横断的に対応できるよう、ゆるやかなネットワークをつくります。また、女性消防団と連携を取り且サポートする活動も実施します。
7 添付書類	<input type="checkbox"/> 協働事業に関する企画書 (様式第2号) <input type="checkbox"/> 協働事業収支予算書 (様式第3号) <input type="checkbox"/> 協働事業実施スケジュール (様式第4号) <input type="checkbox"/> 協働事業提案団体概要書 (様式第5号)



協働事業に関する企画書

団体名 特定非営利活動法人わが街さやまの防災ネットワーク

1 事業名	防災連絡協議会設置に向けてのコーディネート事業
2 事業の詳細	自然災害等の緊急時の防災・減災について、地域住民による防災連絡協議会の設置を計画し、横断的連帯の中核を果たすことを目的とする。そこで、8地区を横断的に繋ぐ「ゆるやかなネットワーク」を形成するために「大防災カフェ」を実施する。また、女性消防団と連携を取り且サポートする活動も実施する。
3 実施体制	特定非営利活動法人わが街さやまの防災ネットワークのメンバーとさやま市民大学「地域の防災リーダー養成講座」修了生がスタッフとなり、危機管理課とともに実施する。
4 役割分担	【提案団体の役割】 会場確保、開催に係る多くの企画や運営を担う。個々の自主防災組織の交流と連携の役割を担う。
	【市の役割】 防災連絡協議会設置は、市民にとって重要なものであるため、団体と連携し、事業を推進する。
5 協働の効果	121自治会のうち96ある自主防災組織を横断的に繋ぐことで、危機管理課からの情報を的確に受信することが出来る。また、地区と地区を繋ぐことで、防災・減災の情報を全体が共有化できる。
6 事業のアピールポイント	市が進める自主防災組織「自主防災会」等を縦軸に、この協議会がそれらを繋ぐ横系の役目を担うことで、横断的な自主防災組織が設立され、情報共有をすることができる。この事業を実施することで市全体として、防災意識の向上が図られる。